

## 第2期 清和校区コミュニティプラン (令和5年度～令和9年度)

まちづくりの目標(スローガン)

星空に太鼓の響き鳴り渡り

笑顔であいさつ

活気あふれる 清和校区



### 清和校区コミュニティ協議会

所在地：〒891-0109 鹿児島市清和3丁目7番1号 (清和校区公民館内)

TEL/FAX : 099-800-1806

E-MAIL : ggh445021@cvn.bbiq.jp



# 清和校区コミュニティプラン目次

I	特色ある風景・史跡・伝統芸能等……………	1 P
II	第2期清和校区コミュニティプラン……………	2 P
	1 計画の期間	
	2 地域の現状	
	3 策定のねらい	
	4 清和校区コミュニティ協議会組織図	
	5 コミュニティ協議会の運営方針	
	6 アンケート結果の状況	
	7 地域の現状と課題(1期の実施から)	
	8 コミュニティ協議会活動の体系図	
	9 各種事業の推進計画	
	10 プラン策定委員会委員	
	会長あいさつ	
III	地区の位置	





# I 特色ある風景・史跡・伝統芸能等



清和にはこんな楽しいことや史跡等もあるよ!



## 星空コンサート

地域住民の手作りコンサートを毎年10月第3土曜日に開催する芸術鑑賞会です。



## 校区20歳を祝う会

第1回卒業生から続いている行事です。毎年100人前後の卒業生が集まります。



## 清和ジュニア太鼓

地域自慢の太鼓で、校区内外のイベントに出演しています。



清和小学校体育館新装記念コンサート内外が改装されたことを記念し、令和4年3月卒業式後に行われ、期間限定でYouTube配信されました。



## 清和花火

コロナの流行により校区運動会が開催出来なくなった年(令和2年~令和4年)に清和小学校開校以来初めて小学校校庭で実施しました。



## 煙硝倉跡

島津氏の火薬製造所跡の記念碑が永田川沿いにあります。



## II 第2期 清和校区コミュニティプラン



みんなで、住みやすいまちづくりを目指しましょう。!

### 1 計画の期間

令和5年度～令和9年度(5年間)

### 2 地域の現状

#### (1) 地理的背景

本地区は、鹿児島中央駅から南へ7km、急速に発展を続ける南鹿児島の起点ともいべき位置にあり、永田川左岸の広々とした平地と、シラス土壌の緩やかな傾斜地が、南北約3km、東西約1kmにわたり細長く伸びるように市街地を形成しています。

#### (2) 歴史的背景

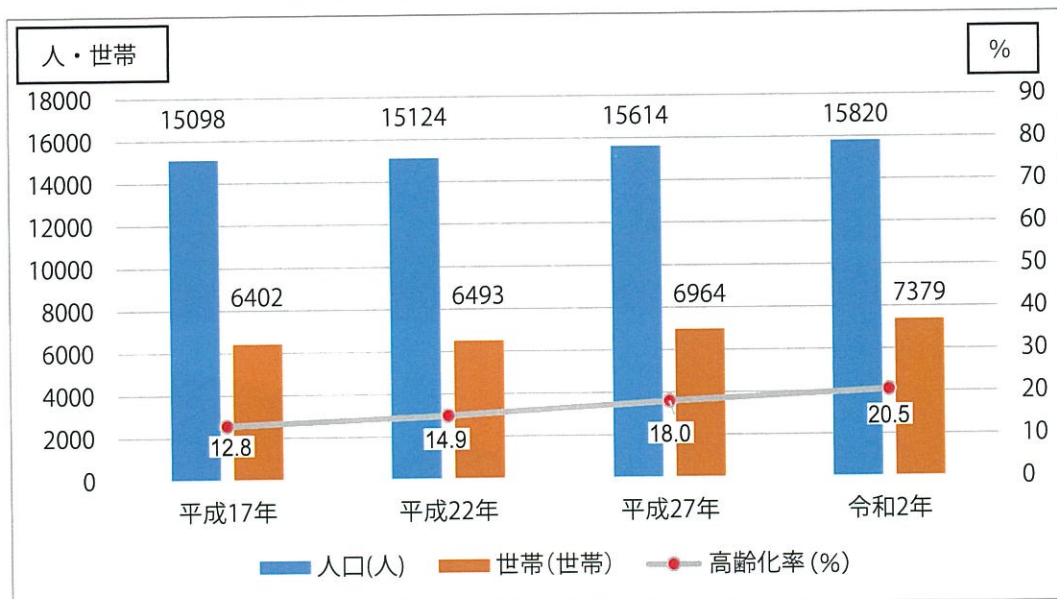
本地区には、薬師堂遺跡や柿木田遺跡など、永田川流域の低湿地を望む低台地に弥生文化の遺物が出土し、古くから水田地帯として開かれてきたことをうかがうことができます。中世になると、谷山郡の郡司谷山氏の荘園として、のちに島津氏の支族山田氏の所領として開発されてきました。本格的な耕地整理は、明治40年代以降で谷山の穀倉地帯として発展してきました。

#### (3) 社会的背景

本地区の永田川河口付近は、江戸中期以降明治中期まで港として栄え、その後商業が盛んとなりました。昭和42年からの笹貫バイパス、その後の中山バイパスの工事に伴い、鹿児島市のベッドタウンとしての機能が高まっています。

また、谷山電停・JR谷山駅等も近くに 있습니다。公共機関として、南警察署・郵便局・病院・銀行等があり、きわめて便利な地域です。

#### (4) 校区の人口と世帯数及び高齢化率（国勢調査より）



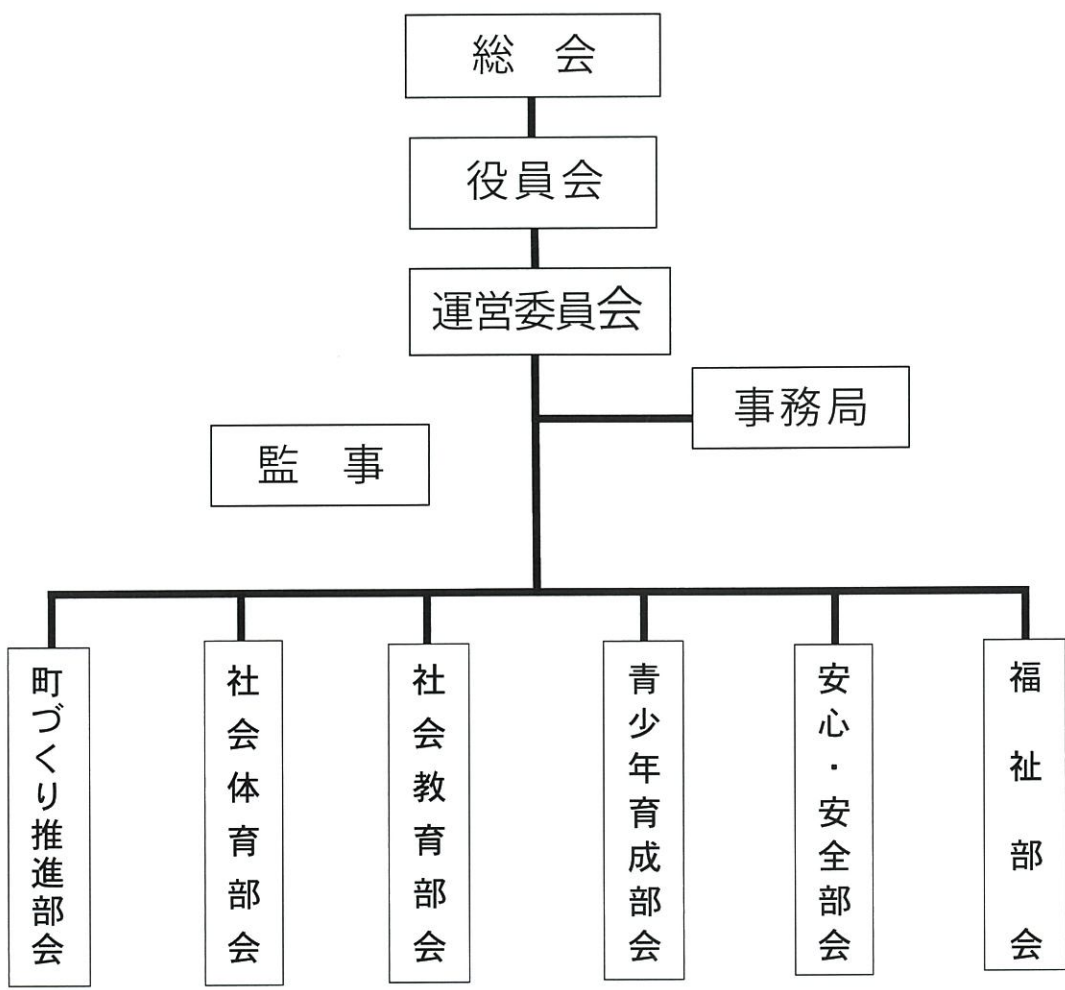
(高齢化率=65歳以上の人口割合)

### 3 策定のねらい

第1期プランでは、地域の現状や課題及びアンケート結果等を踏まえて、地域の在り方を再検討しながらコミュニティ活動の充実にに向けて取り組んできた。

第2期プランでは、第1期プランの活動についての反省をもとに、アンケート結果に基づいた地域の新たな課題等に対応した事業を実施して、清和校区がさらに活性化し住みやすい校区となることを目指すものである。

#### 4 清和校区コミュニティ協議会組織図



#### 5 コミュニティ協議会の運営方針

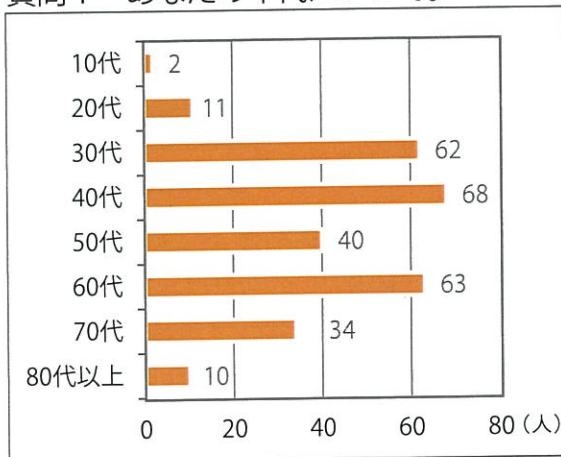
**〔まちづくりの目標(スローガン)〕**  
**星空に太鼓の響き鳴り渡り**  
**笑顔であいさつ**  
**活気あふれる 清和校区**

- 【運営方針】**
- (1) 住民みんなが主体となったまちづくり
  - (2) 夢や希望を持ち、楽しく生活をし続けることのできる個性豊かなまちづくり
  - (3) みんなで創る校区を基本にしたまちづくり
  - (4) 構成団体との連携・協力を図った効果的なまちづくり
  - (5) プラン（地域振興計画）を基にした自助・共助によるまちづくり
  - (6) まちづくりの情報を共有し、諸活動への参加意識を高めるまちづくり

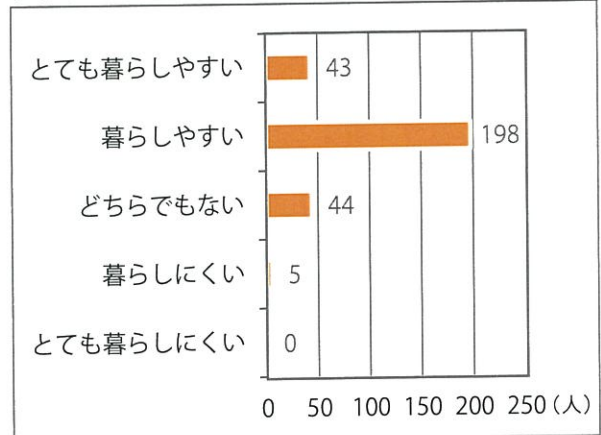


## 6 アンケート結果の状況 (290件の回答)

質問1 あなたの年代について。

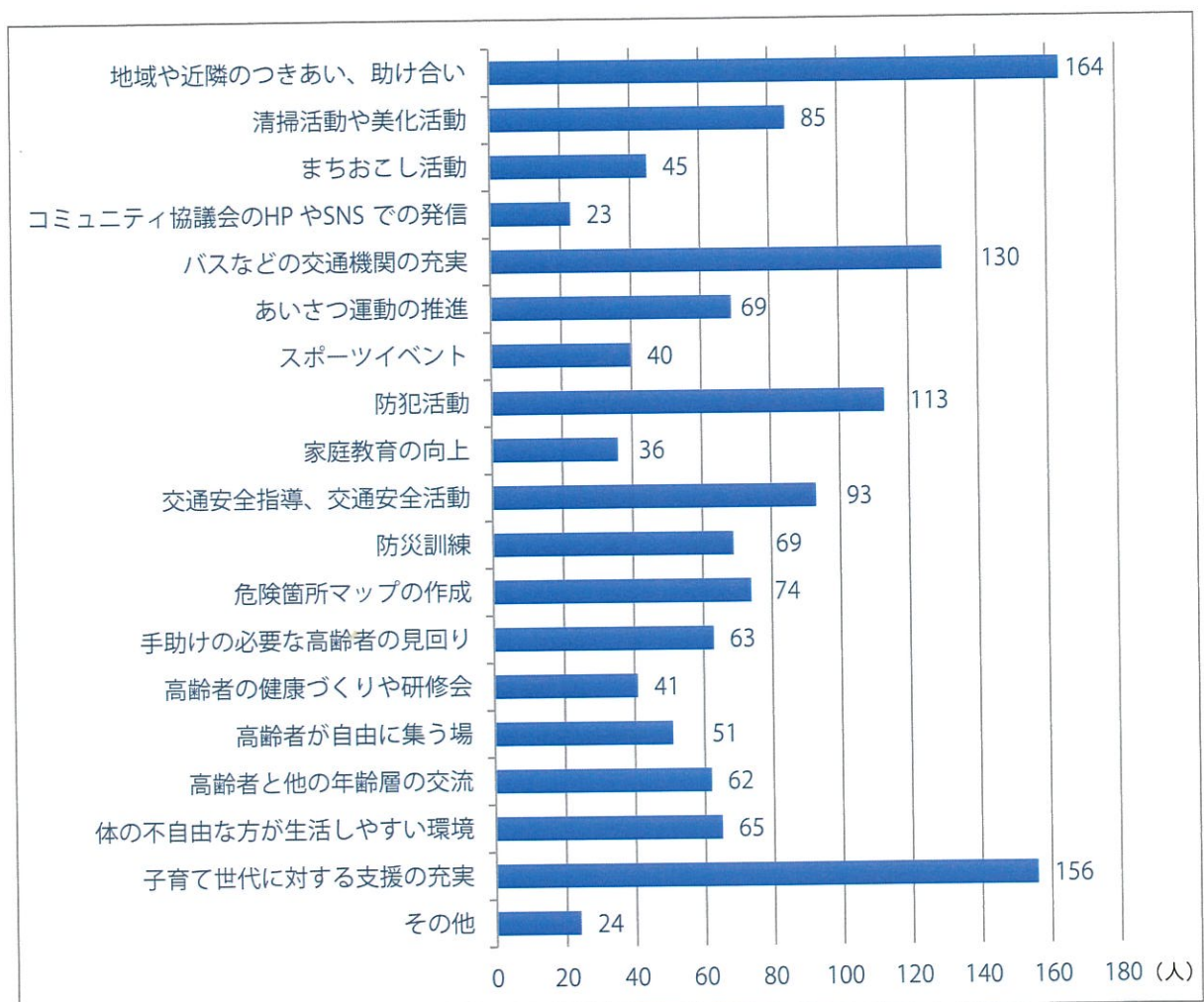


質問2 清和校区の暮らしやすさについて。



質問3 校区をよりよくするために必要なことは何だと思いますか。

(複数選択可)



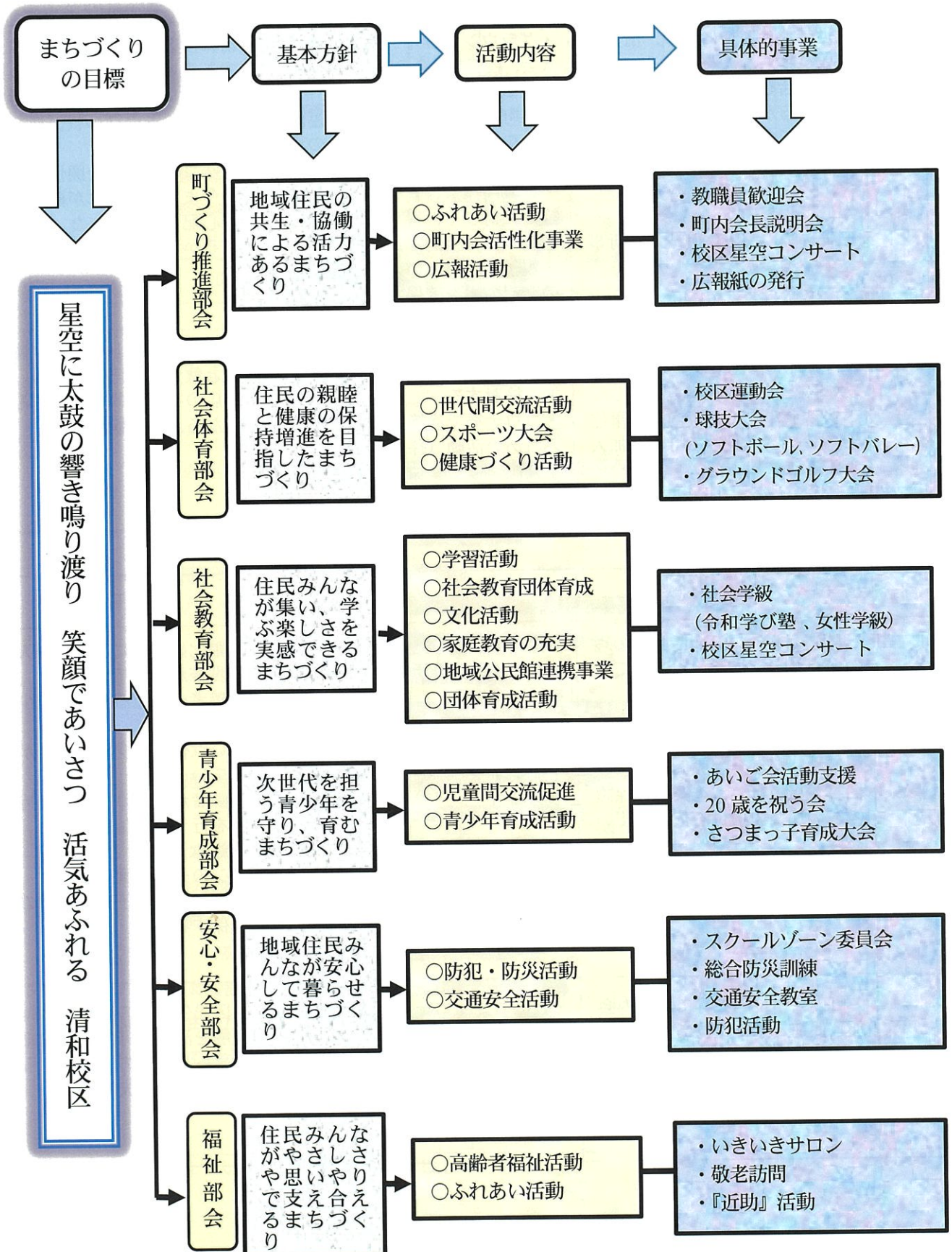
※ 「その他」にいただいた意見は参考にさせていただきます。

## 7 地域の現状と課題(1期の実践から)

部会	町づくり推進部会	社会体育部会	社会教育部会
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世帯数の増加に伴い、清和小の児童数も増加している。</li> <li>・地域活動への協力者を維持できているが、町内会単位の交流が薄れてきている。</li> <li>・ご近所の人とのお付き合いやマナー（あいさつ・ごみ出し）が低下している。</li> <li>・災害時の協力体制や各種行事への参加が低迷している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラウンドゴルフ大会、球技大会、校区運動会の出席者が年々減少傾向にある。</li> <li>・各町内会とコミュニティ協議会とのコミュニケーションの場が少なくなっている。</li> <li>・地域団体（NPO法人、企業等）に対して、行事ごとに連携を図り、積極的参加を促す。</li> <li>・親子のふれあいの場や高齢者の交流の場を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清和校区における最大イベントである星空コンサートを3期連続でコロナ感染拡大の影響で中止せざるを得ない状況になっている。</li> <li>・星空コンサートを開催したいが、今まで通り予算が確保できるか心配である。また、協賛を頂けるか不安である。</li> </ul>
解決策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世帯数増加に伴い町内会の分割・統合も視野に入れながら行政機関との連携・相談を行う。</li> <li>・町内会単位での班内や班単位交流の機会を設けて町内会加入促進を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事の精選や校区運動会の種目内容や町内会合同での種目参加も検討する。</li> <li>・コロナ禍で途絶えている親子ふれあい活動（孫と楽しむ日等と位置づけて参加促進）を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・星空コンサートの内容（演奏鑑賞と飲食）を再検討する。</li> <li>・出店の初期目的を達成する内容となるよう再検討する。</li> </ul>

部会	青少年育成部会	安心・安全部会	福祉部会
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会やあいご会活動への理解が不十分である。（あいご会加入が減少している。）</li> <li>・単位あいご会活動が減少してきている。</li> <li>・20歳を祝う会（成人式）への名称変更を行い、卒業時に保護者への連絡先提供を依頼している。</li> <li>・児童生徒が地域行事への参加を促すような交流推進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な通学路の危険箇所点検や校区危険箇所マップの作成を行っている。</li> <li>・校区総合防災訓練を実施している。</li> <li>・通学路の危険箇所点検や校区危険箇所マップ等の内容充実を図る。</li> <li>・町連や校区社協と連携した校区総合防災訓練の充実を図る。</li> <li>・スクールゾーン委員会のアンケート等で指摘されている箇所の具体化及び改善に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化の進行により、一人暮らし世帯が増えている。</li> <li>・高齢者の集まる機会が減少している。</li> <li>・若い世代との交流の機会が減少している。</li> <li>・高齢者が集まり、健康維持の活動を行う場を確保する。</li> <li>・身近な高齢者とのいきいきサロンの充実を図る。</li> <li>・若い世代への子育て支援の場を確保する。</li> </ul>
解決策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会単位総会等で、町内会加入促進と共に単位あいご会活動目的や内容の十分な説明を行い理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区コミュニティ協議会運営委員や民生委員、学校支援ボランティアコーディネーターや協力者の活動を通して通学路の危険箇所等を点検・調査し危険箇所マップの修正を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区民生委員の活動についての理解を深め、町内会単位での一人暮らし世帯の支援をさらに深める活動を工夫する。</li> </ul>

## 8 コミュニティ協議会活動の体系図





## 9 各種事業の推進計画

☆ 新規事業のうち、1年～2年以内に実施予定は短期、3年～4年以内に実施予定は中期、5年以内で実施予定は長期とする。

### 【町づくり推進部会】

番号	事業名	事業内容	事業のねらい	計画			継・新
				短期	中期	長期	
1	教職員歓迎会	転入教職員を知る。	転入職員を知り、学校との連携を深める。				継
2	町内会長説明会	校区行事を知らせる。	校区の事業への理解を深め、運営への協力を図る。				継
3	校区星空コンサート（社会教育部会と連携）	芸術の鑑賞及び出店団体を通じて、地域住民の親睦を図る。	校区における出演機会が減少した団体等を盛り上げる。				継
4	広報紙の発行	校区内の活動を知る。	校区における話題や活動を町内会加入者にも知らせる。				継

### 【社会体育部会】

番号	事業名	事業内容	事業のねらい	計画			継・新
				短期	中期	長期	
1	校区運動会	校区民が各年代に応じた競技で交流する。	各年代に応じた競技を楽しむことで、校区民の親睦と交流を図る。				継
2	球技大会	町内会対抗のソフトボールやソフトバレーボール大会を開催する。	球技大会を通じて、各町内会の親睦と交流を図る。				継
3	グラウンドゴルフ大会	若者と高齢者がグラウンドゴルフで交流する。	健康の増進と世代間の交流を図る。				継

### 【社会教育部会】

番号	事業名	事業内容	事業のねらい	計画			継・新
				短期	中期	長期	
1	令和学び塾	社会学級を開設し、学習内容の充実を図る。	生涯学習としての学びの世界を提供して、楽しい学習・人の集まる機会とする。				継
2	校区星空コンサート（町づくり推進部会と連携）	芸術の鑑賞及び出店団体を通じて、地域住民の親睦を図る。	校区における出演機会が減少した団体等を盛り上げる。				継

### 【青少年育成部会】

番号	事業名	事業内容	事業のねらい	計 画			継・新
				短期	中期	長期	
1	あいご会活動支援	校区でのあいご活動を推進する。	地域での児童間交流を図る。				継
2	20歳を祝う会	20歳になった方々がタイムカプセルを開封したりお祝いをしたりする。	小学校の卒業後も清和への愛着を持ってもらう。				継
3	さつまっ子育成大会	青少年の意見発表や健全育成に係る講演を行う。	校区全体で青少年の健全育成に取り組む。				継

### 【安心・安全部会】

番号	事業名	事業内容	事業のねらい	計 画			継・新
				短期	中期	長期	
1	スクールゾーン委員会	スクールゾーン委員会と連携した取り組みを進める。	児童生徒のスクールゾーンの安全性の向上を図る。				継
2	総合防災訓練	防災訓練を中心としたイベントを開催する。	校区民のふれあいの場を通し、楽しみながら防災力の向上を図る。				継
3	交通安全教室	高齢者や子ども向けに、校区内等で起きた事故を事例に、予防的な交通安全教室を開催する。	校区民の交通安全意識の高揚を図り、交通事故防止に努める。	○			新
4	防犯活動	問題箇所を中心としたパトロール活動を行う。	地域内のパトロールを通して校区民の防犯意識を高め校区内の防犯に努める。		○		新

### 【福祉部会】

番号	事業名	事業内容	事業のねらい	計 画			継・新
				短期	中期	長期	
1	いきいきサロン	映画会を開催する。	高齢者等に呼びかけ、交流を深める場を提供する。				継
2	敬老訪問	88歳超の方々へお茶を配付する。	高齢者の方々を表敬訪問し、実態を把握するとともに見守り活動に活かす。				継
3	『近助』活動	近隣住民による助け合い活動を進める。	近隣住民の助け合いや声かけあいを行う「ともしび活動」をさらに充実させる。		○		新



## 10 プラン策定委員会委員

	役 職	氏 名	備 考
1	委 員 長	堀之内 学	コミュニティ協議会会長
2	副 委 員 長	霜出 佳寿	コミュニティ協議会副会長
3	副 委 員 長	狩集 淳	コミュニティ協議会副会長
4	委 員	佐藤 勲	東谷山中中学校 教頭
5	委 員	松永 隆	福祉部会 部会長
6	委 員	松尾 誠	安心・安全部会 部会長
7	事 務 局	松尾 深雪	コミュニティ協議会事務局



### 会長あいさつ



清和校区コミュニティ協議会では、平成30年度から1期目のプランに基づいた活動を進めてまいりました。地域の皆様方には多大なるご理解とご協力、そして参画をしていただき誠にありがとうございました。

令和4年度で5年間の計画期間を終えることとなりますが、後半の3年間はコロナ感染防止の立場から多くの事業を中止及び延期せざるを得ませんでした。

コミュニティ活動としては不完全燃焼ではありましたが、新たにプラン策定委員会を組織してアンケートを実施するとともに、1期目を振り返り事業の反省や改善を加えながら2期目のプランを策定いたしました。

令和5年度から新たなプランをもとにして、さらに心が通い住民が支え合う住みやすい校区を目指して、取り組んでまいります。

皆様方のより一層のご協力とコミュニティ活動への参画をお願いいたします。

清和校区コミュニティ協議会  
プラン策定委員会 委員長 堀之内 学



### Ⅲ 地区の位置



清和校区はここです。

